法政大学大原社会問題研究所

所　　報

（2006.7.1～7.31）

□刊行物

『大原社会問題研究所雑誌』573号（2006年８月）

□図書受入

	和　書	洋　書	計
購　入	63	17	80
受　贈	54	0	54
合　計	117	17	134

□閲覧サービス

閲覧

開館日数	25日
閲覧人員	31名
貸出図書	86冊

コピーサービス

学外	30件	1856枚
学内	13件	1828枚

日　　誌

１日　加齢過程における福祉研究会
　テーマ：「高齢者の社会参加と健康の維持増進をめぐって」
　講師：新開省二氏（東京都老人総合研究所社会参加とヘルスプロモーションチーム部長）

５日　運営委員会（臨時）
　議題：「研究所の予算と運営，事務組織の見直し」について
　戦後労働運動研究会
　テーマ：「各担当年における収録資料について」
　報告者：吉田健二，五十嵐仁

８日　世界政治学会（於：福岡　五十嵐仁参加）（～９日）

10日　会計検査（～12日　若杉隆志，小川真弓）

11日　リユース図書を各機関に送付，大阪社会運動協会467冊，北海道運動資料センター154冊，川崎労働者福祉協議会７冊

12日　『日本労働年鑑』編集会議

14日　協調会研究会
　テーマ：中央労働災害防止協会蒲生文庫調査
　訪問者：梅田俊英・高橋彦博・横関至

19日　運営委員会
　議題①研究開発センターの方針と大原社会問題研究所の対応について
　（研究所予算・運営に関しての見直し，研究所事務組織の見直し）
　②研究所の第三者評価委員会について
　③2007年度の研究叢書について
　④2007年版『日本労働年鑑』の特集テーマについて
　⑤兼任研究員の産後休暇について
　⑥次期所長について
　⑦その他
　戦後労働運動研究会
　テーマ：「各担当年における収録資料について」
　報告者：川崎忠文，鈴木玲

22日　加齢過程における福祉研究会
　テーマ：「東京都における介護予防の取組みについて」
　講師：松浦園子氏（東京都福祉保健局高齢社会対策部計画課計画係計画担当）

24日　戦後社会運動史研究会
　テーマ：「戦後における社会運動の出発－戦後直後の食糧運動」
　報告者：梅田鈞治

25日　事務会議
　臨時職員ミーティング

26日　月例研究会
　テーマ：「地域労働運動の可能性―国際比較の観点から」
　報告者：鈴木玲
　来所：韓国希望政策所一行５名　団長：朴元淳（パク・ウォンスン）氏（常任理事，人権弁護士）　日本のシンクタンク調査のため

28日　OISR.ORGに『日本労働年鑑』第74集　2004年版「特集　若年労働者の就業をめぐる諸問題」を公開

31日　OISR Website News発行

大原社会問題研究所雑誌　No.576（2006年11月号）
2006年11月25日発行
定価 1,000円（本体952円），年間購読料12,000円

編集（兼）発行人　法政大学大原社会問題研究所
所長　相田利雄
〒194-0298 東京都町田市相原町 4342
電話 042（783）2307